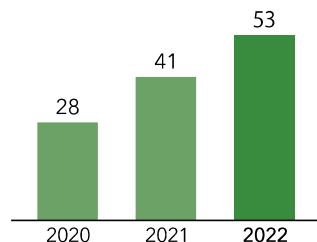
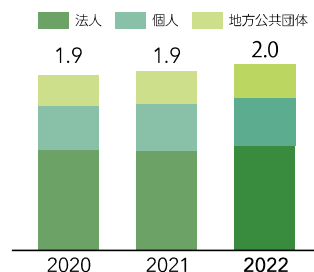


業績ハイライト (2023年3月期)

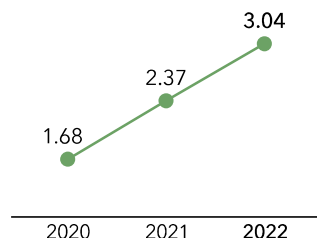
当期純利益
(連結) **53** 億円



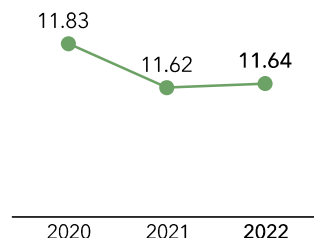
貸出金残高
(末残) **2.0** 兆円



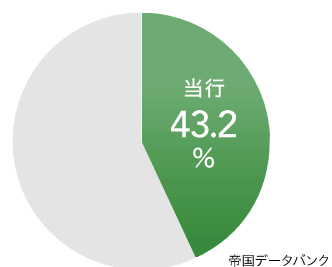
ROE
(連結、株主資本ベース) **3.04** %



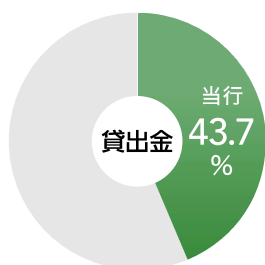
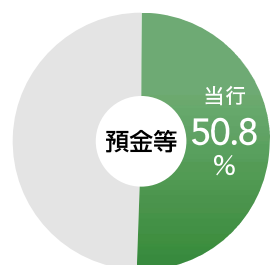
自己資本比率
(連結) **11.64** %



県内メインバンクシェア (2022年)



県内シェア (2022年9月中平均残高ベース)



※県内シェアは、国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)および信用金庫による割合です。

株式情報

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月中に開催します

配当金の基準日 期末配当: 3月31日
中間配当: 9月30日

1単元の株式数 100株

単元未満株式の取得 【取扱場所】
(特別口座)
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
【株主名簿管理人】
(特別口座)
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
電話: 0120-232-711 (フリーダイヤル)
受付時間: 土・日・祝日等を除く
平日9時~17時

公告掲載方法 電子公告により行います。
(当行ホームページ <https://www.iwatebank.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、盛岡市において発行する岩手日報及び東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

2023年6月発行
株式会社 岩手銀行 総合企画部 広報室
〒020-8688 盛岡市中央通一丁目2番3号
TEL 019-623-1111 (代表)



ホームページ



いわぎんレポート2023

2023年3月期
営業のご報告

 **岩手銀行**
The Bank of Iwate, Ltd.

ごあいさつ

代表取締役頭取

岩手 徹



平素より、岩手銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

現在、当行の主要な営業基盤である岩手県では、海外経済の動向や、物価上昇、供給面での制約等の影響に注意する必要があります。新型コロナの5類移行により、経済活動の正常化が一層進んでいます。特に観光面の回復が顕著で、ニューヨークタイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」に盛岡市が選出された効果などから、インバウンドが本格回復し、当行が保有する赤レンガ館にも多くの観光客が訪れています。また、個人消費や生産活動も改善の動きとなり、全体として回復傾向が継続し、着実な成長が期待できる状況にあります。

こうしたなか、当行では、今後10年を見据えた新長期ビジョンと新中期経営計画を策定しました。長期ビジョンは、「お客さまの課題解決と地域社会の持続的成長を牽引する価値共創カンパニー」です。地域事業者や自治体と連携しながら、再生可能エネルギー・農林水産・観光など、岩手特有の強みの活用とポテンシャルを引き出していくことで、地域に新たな価値を生み出す組織でありたいとの想いが込められています。

長期ビジョンの実現に向けて、2026年3月までの新中期経営計画では、金融サービス領域の深化と新事業領域へ挑戦していく期間として、自己資本を活用するとともに、事業ポートフォリオの変革を通じて、10年後の創立100周年、連結当期純利益100億円到達に向けた成長軌道をつくり出します。当行グループに備わっている情報資産や営業基盤など、あらゆる財産を活用して、「当行グループだからこそできる新たな価値共創」を実現できるビジネスモデルを創出していきたいと考えております。

当行はこれからも地域の発展に貢献し続けるため、役職員一同全力を尽くしてまいりますので、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

新長期ビジョン(2023年4月～2033年3月)

お客さまの課題解決と地域社会の持続

これまで進めてきたグループ基盤整備、事業再構築等を通じて盤を土台として、CSV(共通価値の創造)の理念を踏襲し、「金融サービスと金融の枠を超えた「新事業領域への挑戦」を推し進めます

新中期経営計画の概要

2023年度～2025年度

第21次中期経営計画 ～地域価値共創プラン～

地域を支える進化した金融のカたちをつくる期間

金融サービス領域の深化



新事業領域への挑戦

自己資本の活用 地域経済の発展に向け、主導的な役割を担う意思とビジネスモデルの変革に向けた決意

連結当期純利益100億円、
連結ROE5%の到達に向けた成長軌道を創出

具体的取組み

- ・ストラクチャード・ファイナンス分野を強化
▶収益の柱へ
- ・投資専門子会社を設立し、外部パートナーとの連携、協業を強化
▶新たなビジネスへ参入
- ・地域統括型店舗体制の移行
- ・内部事務の業務プロセス改革
▶高度なコンサルティング体制構築

計数目標	2025年度
連結当期利益	70億円
連結ROE (株主資本ベース)	4%以上
連結自己資本比率	10%程度
OHR (単体)	60%台
顧客向けサービス 業務利益	10億円以上

TOPIC

Jブルークレジット®の紹介に向けた取組みへ

気候変動対策に取り組むとともに、洋野町海域の水産業振興に資することを目的として、洋野町および住友商事東北様と藻場(ブルーカーボン)の創出・保全活動にかかわる包括連携協定を締結しました。

本協定に基づき、海洋生態系によって隔離・貯蔵されたCO₂由来の炭素であるJブルークレジット®の紹介業務に向けて取り組んでいます。



的成長を牽引する価値共創カンパニー

備わった経営基
礎領域の深化

「第21次中期経営計画～地域価値共創プラン」の詳しい内容は、こちらのQRコードからご覧いただけます



～2032年度

目指す姿

地域のみなさまとともに
共通価値を創造し、
豊かで活力ある、
そしてサステナブルな
地域社会を実現する



計数目標	2030～ 2032年度
連結当期利益	100億円
連結ROE (株主資本ベース)	5%以上
サステナブルファイナンス (実行累計額)	5,000億円
当行グループGHG排出削減 (スコープ1、2)	ネットゼロ

NYタイムズ紙で注目 盛岡市の魅力を発信

NYタイムズ紙に「岩手・盛岡」が2023年に行くべき先と掲載され、多くの観光客で賑わっています。

当行も、岩手県、盛岡市が主催する観光誘客イベントに積極的に協力し、盛り上げの一役を担っています。今後も地域の賑わい創出に貢献していきます。



東京のアンテナショップと中継を繋いで赤レンガ館を紹介

